



安心・安全に“**予防接種**”を受けるために知っておきたいこと



問い合わせ 健康づくり課 ☎229-3310 FAX229-3346
新型コロナウイルスワクチン接種推進室 ☎229-3353

現在、新型コロナウイルス感染症予防接種の実施に向けて準備を進めています。予防接種とは、病気に対する免疫をつけたり免疫を強くしたりするために、ワクチンを接種することです。予防接種を受けることで、病気にかかることを予防したり、人に感染させてしまうことで社会に病気がまん延すること

を防いだりする効果があります。また、病気にかかったとしても、重症化を防ぐ効果も期待できます。

今回は、予防接種を受ける前に知っておきたいことをご紹介します。

予防接種を受ける前

接種するワクチンの種類や接種間隔を確認する

接種するワクチンの効果や副反応(副作用)についてかかりつけ医等と相談し、よく理解した上で接種を検討してください。



ワクチンの接種は強制ではありません

予防接種を受ける人には、予防接種による感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について理解した上で、自らの意志で接種を受けていただいています。新型コロナウイルスワクチンも含め、同意なく接種が行われることはありません。

予防接種を受ける時

体調が良い時に接種する

いつもと体調が異なる、なんとなく調子が悪いという時は、接種できるかどうかを、必ず接種医等に相談しましょう。



予防接種を受けた後

体調に変化がないことを確認してから帰宅する

接種部位の痛みや腫れ、頭痛、倦怠感のほか、まれに接種直後にアレルギー反応(アナフィラキシー*)が起きることがあるため、予防接種後はしばらくの間、接種した場所に留まり、体調に変わりがないことを確認してから帰宅しましょう

※汗がたくさん出る、顔が急にはれる、全身にひどいじんましんが出るほか、吐き気、嘔吐、声が出にくい、息が苦しいなどの症状やショック状態になるような、激しい全身反応のこと

～ワクチン接種後に気になる症状がある場合は、かかりつけ医にご相談ください～

